

環境に優しい水性塗料用 紫外線吸収剤に関する研究（第2報）

材料環境部 久間俊平、田栗有樹、帆秋圭司、矢野昌之

概要

未利用の地域資源に含有されるバイオマス由来の材料を活用して、低環境負荷の木材用水性塗料を開発する研究です。

◇ 木材用塗料のニーズ

- ・ 低環境負荷(水性)
- ・ 木質感を失わない(クリア塗料)

◇ 水性クリア塗料の課題

- ・ 耐候性が低い
(紫外線が塗膜を透過する
→木材自体も劣化)

紫外線吸収剤(UVA)による耐候性向上を検討

○ ルチンをUVAとして利用

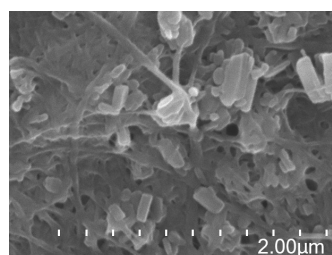


図 ルチン微粒子のSEM像

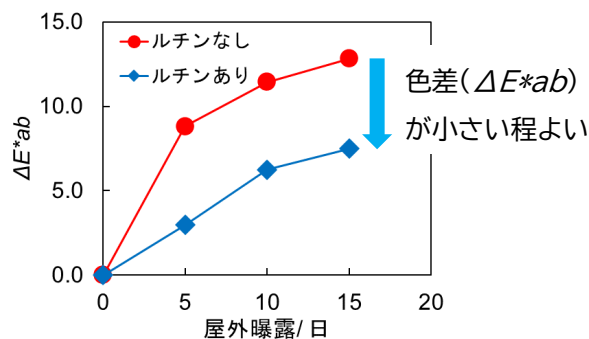


図 屋外暴露試験による色変化

- 低環境負荷のUVAとして、バイオマス由来材料である **ルチン(柑橘類、ソバ、小豆、アスパラガス等に含有)** を水性塗料へ添加することで、**耐候性向上効果**を示すことを確認しました。

- いっそうの耐候性向上のため、塗料への**ルチンの利用技術**について検討します。

◇ 詳しい内容は、研究報告書でご覧いただけます。

【お問合せ先】佐賀県工業技術センター 材料環境部 0952-30-8163

